

ESD 日米教員交流プログラム

ア) 事前に設定した目標（第 2 回合同会議（June 29 – July 1）で決めたこと）

① メンバー Meredith Jacques (Parkway Central High)

上田 雅也（桂川小学校）

黒澤 裕美子（鎌ヶ谷西高等学校）

② 事前設定プロジェクト「日米ゴミ比較」

- ③ 手順
1. 日米生徒のゴミ紹介…自分たちが生み出すゴミや活動内容を写真等で記録し、Google Education を用いて紹介する。
 2. 意見交換…ゴミを減らす工夫を Google Education で意見交換する。
 3. 意見交換…パリ協定について学び、環境問題に対する意見を交換する。
 4. トランプ大統領へ手紙を出す。

…パリ協定から脱退しないよう、Parkway Central High

School の生徒がトランプ大統領へ手紙を出す中で、日本の各学校の活動と署名を入れてもらう。

イ) それに対する達成度

1 鎌ヶ谷西高校の取り組み

チーム作り…科学部、英語部、美術部、1 年 2 組の各生徒と顧問の教員
学内での活動報告書の作成

1. 美術部によるキャンドルナイト（節電の呼びかけ）
2. 科学部による小学生へのひまわりプロジェクトの報告と呼びかけ
3. 英語部によるゴミの記録と学校紹介の作成
4. 3 部活による文化祭での活動報告
5. 1 年 2 組の「服のチカラ」プロジェクト（UNIQLO とコラボし、不要な服を集め、難民の子供達に届ける）を文化祭で報告
6. 中学生対象学校説明会の中で今回の活動報告

ウ). 今後の実践予定…学校間交流プロジェクトの達成度

7. 3 校間での意見交流後の鎌ヶ谷西での検討
8. トランプ大統領への手紙への参加
9. 学内発表
10. 学外発表

* 日本が夏休みから活動を始め、アメリカに紹介する形でプロジェクトを開始し、アメリカは 9 月に学期が始まってから活動を開始していくラインで逐次教員同士は活動報告を行って今後の活動も続けていけると考える。